連体詞・副詞・接続詞・感動詞【練習問題】解答

一年　組　番・二年　組　番（　　）

○単語は全部で（　十　）種類に分けることができる。その中で、活用のない自立語（＝後ろにどのような単語が続いた場合でも語の形が変化しない自立語）は、名詞以外で四種類ある。

ポイント①　↓　一の問題へ

▽活用のない自立語で、名詞以外のものは、全部で四種類ある。

①連体詞…「どの・どんな」を表す。主に体言を含む文節を修飾する。

（例）この・小さな・たいした・あらゆる…

②副　詞…状態や程度を表す。主に用言の文節を修飾する。

※副詞には、「状態・程度・呼応」の三種類がある。

（例）状態…ゆっくり・いきなり・ワンワン…

程度…少し・もっと・一番…

呼応…全く・ぜひ・まるで…

③接続詞…文と文や文節と文節をつなぎ、前後の関係を示す。

（例）だから・しかし・そして・なぜなら・または・ところで…

④感動詞…話し手の感動・呼びかけ・応答・あいさつなどを表す。

（例）わあ・もしもし・はい・さようなら…

ポイント②　↓　二・三の問題へ

▽連体詞と副詞の見分け方

・連体詞と副詞は、どちらも修飾語（＝他の言葉を詳しくする語）として働く。この両者は、どんな言葉を修飾しているかで見分けるとよい。

（例）「とても」…とても→大きい

＝大きいという形容詞を詳しく説明しているので、「とても」は副詞。

（例）「いろんな」…いろんな→意見

＝意見という名詞を詳しく説明しているので、「いろんな」は連体詞。

※用言（＝動詞・形容詞・形容動詞）を詳しく説明していれば副詞。体言（＝名詞）を詳しく説明していれば連体詞。

ポイント③　↓　四の問題へ

▽同じ語形でも品詞が違う場合の見分け方

・全く同じように見える単語でも、文中の働きによって実は品詞が異なる場合がある。

（例）「また」…文中で位置を変えても意味が通じる場合は副詞。位置を変えられない場合は接続詞。

・あの人がまた来る。　↓副詞

・りんごを食べ、また、梨も食べる。　↓接続詞

（例）「そう」…他の言葉を詳しく説明していれば副詞。独立していれば感動詞。

・私もそう思う。　↓副詞

・そう、それで政界だ。　↓感動詞

〈練習問題〉

一　次の文の―線部の単語は、ア連体詞　イ副詞　ウ接続詞　エ感動詞のどれか。記号を書きなさい。

①時間がない。だから、急ごう。（　ウ　）

②すでに季節は春である。（　イ　）

③ある人の伝説を調べています。（　ア　）

④もしもし、お久しぶりです。（　エ　）

⑤そう思うんだったら、教えて。（　イ　）

⑥みなんな、おはよう。（　エ　）

⑦やりやすいのはどの方法か。（　ア　）

⑧急いだ。ところが、遅刻した。（　ウ　）

二　次の文の―線部の単語は、連体詞と副詞のどちらか。

①計画をしっかり立てたい。（　副詞　）

②私はとんだ被害を受けた。（　連体詞　）

③君の猫はずいぶんかわいい。（　副詞　）

三　次の文から、指定された品詞の単語を書き抜きなさい。

①この本はかなり売れたので、品薄だ。（　副詞　かなり　）

②先輩と勝負するとは、たいした度胸だ。（　連体詞　たいした　）

③常にあらゆる可能性を秘めている。（　連体詞　あらゆる　）

四　次の文の―線部の単語の品詞を書きなさい。

①また電話がかかってきた。（　副詞　）

②東京、また大阪にも行った。（　接続詞　）

③ちょっと、返事しなさいよ。（　感動詞　）

④今日は、ちょっと勉強した。（　副詞　）

まとめ

次の文章の―線部①～⑥の単語の品詞は、ア連体詞　イ副詞　ウ接続詞　エ感動詞のどれか。記号を書きなさい。

女性の中には、好きな男性のタイプとして「①たくさん食べる人」がいいと言う人がいる。②しかし、私は女性のほうが、男性よりも食べる量が③よほど多いと思うことがある。

なぜなら、豪華な食事を一通り食べた後、④いろんな種類のデザートを、ぺろっと食べてしまうからだ。「⑤えっ、いった⑥その体のどこに入るの」と思わずにはいられない。

①（　イ　）　②（　ウ　）　③（　イ　）

④（　ア　）　⑤（　エ　）　⑥（　ア　）